

第7回女性活躍100人会議（10月19日 津和野町）

でいただいたご意見に対する県の対応

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
個人で農業機械を揃えることは困難なので、地域で共同で使用できるような仕組みや、農業公社にそうした機械を整備することに県が支援するようなことをすれば、農業が活性化する。	水田園芸の拠点づくりに取り組む場合、今年度から生産者による共同での機械導入に対する支援を行っております。 また、来年度から新たに、水田園芸に取り組む農業者の方へ対する支援制度を追加します。
雇用先が少なく、選択肢が限定されているため、短時間のパートを希望しても、フルタイムの勤務しかないので、子育てをしながら働くことが難しい。	女性向けの就職相談窓口を松江市、浜田市に設置し、女性一人ひとりの希望に応じた、多様な働き方が実現できる就労を支援しています。 また、来年度からは、相談窓口のない地域での出張相談会や就労ニーズを踏まえた求人開拓を実施するなど相談体制を強化します。

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
高校の魅力化コーディネーターを入れて、県外からの生徒を呼び込んで、地域全体を学びの場とするような取組を、島根県全体でやって欲しい。	県教育委員会では、学校・家庭・地域等が協働して地域資源を活かした教育や「しまね留学」など「高校魅力化」の取組を推進しています。 また、地域と学校をつなぐコーディネーターの重要性も承知しており、配置については、国に対して制度の創設と財政支援を要望しているところです。 今後も、しまね留学の支援と共にコーディネーターの取組が制度化し、県全域に広がるよう継続して国に要望してまいります。
全国に先駆けて、島根県全部の学校給食を有機農産品にして欲しい。そのことが地域の小規模農家を守っていくことにつながる。	食材の選択など学校給食の運営については各市町村の判断になりますが、学校給食における県産食材の使用は地産地消の取組の中でも非常に重要なことと考えております。 直ちに全てを有機農産物にすることはできませんが、県農業の象徴ともいえる有機農産物を提供することは大きな意義のある取組と考えております。 また、地元産品を活用することが地域の産業を知ることや食育につながりますので、今後、関係者との議論を進めるとともに、市町村に働きかけていきます。

3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
産休・育休期間など仕事をしていない期間に、不安を解消し自分の自信につながるよう、知力・知識・技術を磨ける機会があればよい。	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定した「しまね女性の活躍応援企業」に対しては、女性が働きやすい職場環境づくりやスキルアップを図るための取組に対して経費の一部を助成する制度があり、それぞれの企業で研修を行う場合などに活用していただくことができます。 また、女性を対象としたスキルアップセミナーも実施しており、託児を行うなど育休中の方にも参加していただいています。 一方、国では、育児休業を取得する従業員との面談により把握したニーズに合わせて「育児復帰支援プ

	<p>ラン」を作成し、そのプランに基づき支援を実施した企業に対する助成制度を設けています。</p> <p>県では、様々な機関が行う企業向け支援施策をとりまとめた「企業支援ガイドブック」を毎年度作成しており、この支援制度も掲載しております。</p> <p>今後も、この制度が、より有効に活用いただけるよう国等と連携し、経済団体や市町村等を通じて周知に努めてまいります。</p>
<p>自分で食べるものは自分で作りたいという人や持続可能な生き方をしたい人が増えており、この地域がそうした取組をしていることをPRすれば定住者が増えると思う。そのためには、小さな農家を県として守っていく方策を出して欲しい。</p>	<p>規模に関わらず、意欲ある農業者の方の経営発展を支援するため、水田園芸をはじめとする収益性の高い農業への取組支援などきめ細かな施策を展開しており、今後も支援を行ってまいります。</p> <p>また、県内に移住して多様な暮らし方を実現した方の体験談を取り上げ、インターネットや情報誌で県外に情報発信しています。</p> <p>今後も情報がきちんと伝わるよう工夫しながら県内の仕事や暮らしの魅力をPRしていきます。</p>
<p>島根にIターンして、豊かな自然の中で子どもを育てることができたというのが一番の魅力だと感じているので、それをもっとPRしたらどうか。</p>	<p>インターネットやUIターンフェアなどのイベントで、島根の豊かな自然をはじめ、子育て環境に関する情報提供をしています。</p> <p>また、島根での子育ての魅力を十分にお伝えできるよう、結婚・妊娠・出産・子育て総合ポータルサイトをリニューアルする予定です。</p> <p>今後も子育て支援の取組について周知を図るとともに、Iターンされた方の感想や事例を引き続き広く紹介し、移住希望者のニーズに応じた情報発信となるよう工夫してまいります。</p>

#### 4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただきご意見

- ・乳児検診（3カ月、6カ月）の時間帯について、平日の午後ではなく、一定の期間内の都合の良い日を選べるとか、土曜日の午後に行けるとよい。
- ・同じメンバーでの少人数のクラスの中で、どうやってコミュニケーション能力を身につけ、人間関係を築いていけるか不安なので、小規模の小中学校の統廃合を政策的に進めて欲しい。
- ・県西部では、隣接する山口県に比べて最低賃金が低いため、求人を出しても応じてもらえない現状がある。賃金を上げれば全体の人件費が増加し、企業にとって負担になるという問題を理解して欲しい。
- ・益田市では、地元就職者に対して8万円の補助を出しており、県の方からも、そうした地元就職者に対する助成をしてもらえると、地元就職への強みになると思う。
- ・津和野共存病院で、週1回の耳鼻科の診療日が医師の都合で休診となり、受診できなかった。総合病院であれば、小児科や耳鼻科など手軽に受診できる体制であるべきで、不満に思っている。

#### 5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

※ なし